

事務事業名 道路整備事業

出力日：令和02年03月19日

キーコード：507

施策：	27	交通環境の総合的な整備と充実	財務コード	01070202-01-00
基本事業：	02	道路の整備	担当部	建設部
基本事業の成果指標	道路の整備・改良延長（計画期間の累計） 道路の整備、改良により安全性、利便性が向上した箇所数（事業完了箇所数）		担当課	土木課
			担当係	土木整備担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1．対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2．手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
市道路線			地元からの要望等による既存道路の改良や新設道路等の工事を実施するための基礎的調査のための費用						
3．意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
道路機能の充実・改善を図ることにより、利用者が便利にかつ安全に利用できる。									
4．成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	29年度 実績	30年度 実績	01年度 当初	02年度 要求	03年度 計画	04年度 計画	目標
生活道路整備の満足度（アンケート）		%	73.5	69.7	73				
5．コスト									
事業費		計	千円	1,891	8,914	1,750	10,080		
		国	千円	0	0	0	3,720		
		県	千円	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他 一般	千円	0	0	0	0		
正職員人工数		人工	0.3	0.3	0.1				
正職員人件費		千円	2,399	2,427	807				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	4,290	11,341	2,557	10,080			
6．成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		地元からの改良要望や交通体系全般の見直し要求に基づき、逐次、整備を進めている。							
7．評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし	緊急かつ重要度の高い突発案件への予算執行					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし						
成果向上余地	中程度								
8．改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了	
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）									
備考・特記事項 or 進行管理欄									
パリアフリー法改正 利便性と共に安全性の向上が求められる。									